

2014. 10

7号

社会福祉法人 幸府福祉会
http://saifu-fukushikai.com

法人本部事務局

福岡県太宰府市大佐野 761-1

発行責任者：草本武俊

編 集：広報委員会

わかたけ

障害者優先調達推進法に伴い 注文を頂きました。

那珂川町様より「同和問題啓発強調月間啓発用配付物」としてオリジナルマグネット 8,000 個のご注文を頂き、納品させていただきました。



太宰府市様より、部署再編に伴う「席札」をご注文いただき、副市長、教育長はじめ、各部長、課長の合計 41 枚納品させていただきました。



ご注文
有難うございました。

これからの福祉事業においては、恒常的な人材不足の中で、人材の確保や人材育成が大きな課題になります。今、社会福祉法人のあり方が問われている中で、当法人が

ていかなければならないと考えます。

によって身につくという事です。特に失敗から学ぶ事は多いと思います。その人の能力は失敗の積み重ねの結果と言っても良いくらいではないでしょうか。

きる人材等、法人の全職員が意識し、目指したいと考える「職員像」をさらに明確化していきます。

行政や地域とのつながりを強めて「地域に即した福祉事業の推進と健全な経営の確保」の目標達成

まず「人材育成の目的と意義は何か」です。基本理念やビジョンの具体化と実現、組織目標の達成・事業目的の実現を図る事です。

それから「人材育成推進の基本は何か」です。①組織構造を考える、②仕組みの運用の可否に重点を置く、③人材育成の職場風土を作る事の3点を基本にする事です。

①職場環境づくりは「チームワークのある職場づくり」「学習する職場風土づくり」「ワーク・ライフバランス」「残業ゼロ推進」「メンタルヘルス」等を進めます。

において、人材育成は大きな課題と認識し積極的に取り組んでいく事としています。

またこれは、職員一人ひとりの為にもなると言う事です。人材育成を通して職員能力の向上や組織力を高める事によって、組織や事業の目標や目的の推進を図る事になります。

以上が人材育成の取り組みにおいて大事にしなければならないと考えています。これらを踏まえて、当法人の人材育成の取り組みについて述べたいと思います。

②職員研修はOJT研修を基本にし「専門研修」「階層別研修」「組織人材研修」に取り組みます。

先日の法人職員研修会におきまして、これからの当法人の「人材育成の取り組み」についての概要とスケジュールについて説明を致しました。人材育成方針なり計画等の実施については、全職員がその意義を共通に理解し協力がなければ成果を得られないと考えています。そこで、この人材育成の基本を押さえつつ、理解を深め

次に「人材とは何か」です。経営戦略、経営計画を実践する資源です。経営資源は「人・もの・金・情報」ですが、人材については非常に重要であると思います。

まずは「めざす職員像」です。法人の基本理念、経営理念の具体化に向けて実践できる人材、明るく前向きな態度で、何事も積極的に取り組む人材、責任とチームワークのもと目標を達成で

③人事管理については「多様な働き方のへの対応」「人事異動・配置ローテーション」により人材育成を進めたいと考えています。

ていいます。そこで、この人材育成の基本を押さえつつ、理解を深め

して成長するという事です。人は経験から学び、能力は実践する事

ていいます。そこで、この人材育成の基本を押さえつつ、理解を深め

として、人材育成を推進する体制と役割についてです。組織・

けんしゅう いんかい ほうじん ほんぶ が かくしゅ

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい

けんしゅう じっしやう おこな じんざい いくせい



催事のお知らせ

宰府園

2年に一度のイベント『宰府園まつり2014』を左記の内容にて開催します。地域の皆様に支えられて、開園36周年を迎えることが出来ました。拾得物バザーや楽しいゲームコーナー、模擬店・ステージ・抽選会と楽しい企画満載で、皆様のお越しをお待ちしております。

☆日時：11月2日(日) 10時～16時

☆場所：宰府園(太宰府市大佐野761-1)

☆お問い合わせ ☎09292557200

やまもも

『やまもも』では秋から冬にかけて2つのイベントにて製品販売を予定しています。お近くにお越しの際はぜひご来場の上、お買い求めください。

『人権フェスタ』

日時：12月7日(日)

会場：ミリカローデン那珂川



『ボランティアフェスタながわ』

日時：10月26日(日)

会場：那珂川町福祉センター他

ゆり工房・にじ

今年も『いきいきフェスタ春日2014』が、「健康」「福祉」「子育て」をテーマとして開催されます。

『ゆり工房』では、小物やお菓子作りの作業体験や販売、『にじ』では、毛糸作品の展示販売を行います。

地域の皆様方に福祉ぱれっと館を知って頂く良い機会になっています。是非、お越しください。



『いきいきフェスタ春日2014』

日時：10月26日(日) 10時～15時

場所：春日市いきいきプラザ・福祉ぱれっと館・春日小学校

すみれ園トピック

児童発達支援センターすみれ園通園(3～5歳児)では、8月7・8日に年長児22名を対象に、お泊り保育を行いました。

夕食はカレーライス作り、夜は天拝の湯に入り、戻って来て花火。そして、「おやすみなさい」お布団を敷いて初めての教室でのお泊りを体験。2日目にはお散歩しながら朝ごはんを買いに行ったりと盛りだくさんの体験を終え、自信にあふれた年長さんでした。



平成 25 年度 社会福祉法人 宰府福祉会 事業報告

平成 25 年度は、当法人の二つの施設において節目の年を迎えることができました。開設 35 周年の「障害者支援施設 宰府園」と開設 15 周年の「障害福祉サービス事業所 やまもも」です。これまでの皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げます。

さて、事業実施につきましては、基本理念、事業方針のもと、利用者の権利擁護とサービス向上を図るべくして、地域に信頼され、そして地域に開かれた事業運営を目指して実施しました。

法人経営面では、経営・執行機能の充実や法人全体の事業運営管理等を行うための法人本部機能の強化、そして、人事・労務管理面では、諸規則の見直しと効率的運用を進めるとともに職員の人材育成等のための研修事業の実施、人事異動等を実施することとしました。事業経営面では、新規事業であるグループホーム やまももの開設、さぼーと春日の事業拡大、すみれ園 従たる事業所の放課後等支援事業の開設、県立 宰府特別支援学校放課後等支援事業の受託運営の初年度事業としての事業充実に全力を注ぎ努めることができました。また利用者サービスの提供については、各種委員会活動等をとおして、その充実を図ることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

平成 25 年度 社会福祉法人 宰府福祉会 決算報告

貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

資産の部		負債の部	
科 目	当年度末	科 目	当年度末
流動資産	624,413,205	流動負債	50,390,130
固定資産	830,239,865	固定負債	76,669,000
基本財産	620,447,729	負債の部合計	127,059,130
その他の固定資産	209,792,136	純資産の部	
		基本金	126,888,468
		国庫補助金等特別積立金	307,173,454
		その他の積立金	146,760,560
		次期繰越活動収支差額	746,771,458
		純資産の部合計	1,327,593,940
資産の部合計	1,454,653,070	負債及び純資産の部合計	1,454,653,070

収支計算書

(自) 平成 25 年 4 月 1 日 (至) 平成 26 年 3 月 31 日

(単位: 円)

(単位: 円)

資金収支計算書		
勘定科目		合計
活動による収支	就労支援事業収入計	26,875,896
	就労支援事業支出計	26,173,349
	就労支援事業活動資金収支差額	702,547
福祉事業活動による収支	福祉事業活動収入計	611,350,044
	福祉事業活動支出計	530,422,569
	福祉事業活動資金収支差額	80,927,475
施設整備等による収支	施設整備等収入計	6,305,491
	施設整備等支出計	27,371,366
	施設整備等資金収支差額	△ 21,065,875
財務活動による収支	財務収入計	9,000,000
	財務支出計	35,241,000
	財務活動資金収支差額	△ 26,241,000
予 備 費		
当期資金収支差額合計		34,323,147
前期末支払資金残高		536,690,339
当期末支払資金残高		571,013,486

事業活動収支計算書		
勘定科目		合計
活動による収支の部	就労支援事業活動収入計	26,875,896
	就労支援事業活動支出計	27,032,460
	就労支援事業活動収支差額	△ 156,564
活動による収支の部	福祉事業活動収入計	578,978,788
	福祉事業活動支出計	515,980,420
	福祉事業活動収支差額	62,998,368
事業活動外収支の部	事業活動外収入計	48,396,384
	事業活動外支出計	48,771,637
	事業活動外収支差額	△ 375,253
經常収支差額		62,466,551
特別収支の部	特別収入計	139,859,350
	特別支出計	139,869,090
	特別収支差額	△ 9,740
当期活動収支差額合計		62,456,811
繰越活動収支差額の部	前期末繰越活動収支差額	704,424,647
	当期末繰越活動収支差額	766,881,458
	その他の積立金取崩額	9,000,000
	その他の積立金積立額	29,110,000
	次期繰越活動収支差額	746,771,458